指定管理者に係る令和２年度事業報告書
及び令和３年度事業計画書について
（　彩　の　森　入　間　公　園　）

指定管理者：彩の森入間公園パートナーズ（平成３０年度～令和４年度）

１　令和２年度事業報告書の概要

（１）管理業務の実施状況

ア　新型コロナウイルス感染症対策を主に安全・快適に利用できる公園づくりを行ったほか、環境配慮・省エネルギー化等に取り組んだ。

イ　公平・平等な利用の確保に努めるとともに、公園に対するニーズの収集や、公園管理への意見の反映に努めた。（アンケート回収件数 592 件、満足度 91.8%）

ウ　バーベキューサービス縮小営業、「彩の森カフェ」時短営業、イベントの中止等事業の展開には厳しい状況だったが、近隣公園とも連携し来園者に癒しの空間を提供するなど公園の活性化に取り組んだ。

エ　チューリップ１万本プロジェクトを特別支援学校と行うなど、地域社会の発展に寄与する公園管理を行った。

オ　法令を遵守し、透明性を確保した公平・公正な管理運営を行った。

（２）施設の利用状況

有料施設なし

（３）収支状況

（単位：千円）

項　目	決算額 a	予算額 b	決算額と予算額の比較		備考
			差額 c=a-b	差額の発生理由	
指定管理料	38,820	38,605	215	新型コロナウイルス感染症対策に伴う増額	
利用料金収入	98	500	△402	新型コロナウイルス感染拡大防止による施設休止による減	
その他収入	5,691	6,600	△909	新型コロナウイルス感染拡大防止による施設休止による減	
収入合計	44,609	45,705	△1,096		
人件費	19,186	20,229	△1,043	イベント減少に伴う減	
事業費	24,985	25,476	△491	光熱水費、委託料の減	
支出合計	44,171	45,705	△1,534		
収支差額	438	0	438		

［参考］指定期間における収支決算額の推移（単位：千円）

項目	平成３０年度	令和元年度
収　入	57,587	46,337
支　出	55,875	45,490
収支差額	1,712	847

２　令和３年度事業計画書の概要

（１）基本的な考え方

ア　樹林地の保全・再生、水辺の景観づくり
イ　県民や地域団体、入間市と連携した防災体制づくり
ウ　新たなボランティア活動、にぎわいの催しづくり
エ　利便性・サービス性向上、新たな公園の魅力づくり

（２）事業計画

ア　草地、樹林地等の維持管理
イ　園内の巡回、清掃、安全管理等
ウ　公園施設・設備の保守点検、補修
エ　公園ボランティア等による、地域の方々の活動の場を創出
オ　「彩の森カフェ」でのドリンク・軽食サービスなどの充実

（３）収支予算書　（単位：千円、%）

項　目	当年度予算額 a	前年度予算額 b	増減額 c=a-b	増減率(%) c/b*100	備考
指定管理料	38,605	38,605	0	0	
利用料金収入	650	500	150	30.0	
その他収入	6,585	6,600	△15	△0.2	
収入合計	45,840	45,705	135	0.3	
人件費	20,099	20,229	△130	△0.6	
事業費	25,741	25,476	265	1.0	
支出合計	45,840	45,705	135	0.3	
収支差額	0	0	0		

（４）執行体制【１７名】

本　部
├── 総括責任者（１）、副総括責任者（１）
所　長（１）
├── 副所長（２）〈運営管理補佐、維持管理責任者〉
├── イベント・広報スタッフ（１）
├── 管理運営スタッフ（５）
└── 維持管理スタッフ（５）、維持管理アドバイザー（１）

（参　考）

○公園の概要

入間市の市街地に隣接し、米軍から返還された基地跡地に設置した公園で、２つの大きな池があり、その間をせせらぎが流れている。（供用面積１５．０ha）

○開設年月日　平成１０年４月１日